

Dialogue 37 Advising someone - したほうがいいと教える -

教室での活動案

アクティビティー名：「**おすすめは何？**」

おやつに何を食べたらいいかをアドバイスする活動。

Target Expression [ターゲット表現] : **you should** ～

用意するもの：

食べ物の絵カード： pudding 「プリン」, cheese cake 「チーズケーキ」,
apple pie 「アップルパイ」, ice cream 「アイスクリーム」,
cream soda 「クリームソーダ」, banana 「バナナ」
crape 「バナナクレープ」, orange juice 「オレンジジュース」
cocoa 「ココア」 など

*絵カードのコピー（ペアやグループの数に応じて）も用意する

- 1) 教師は食べ物の絵を黒板に貼り、それぞれの英語での言い方と発音と一緒に確認しながら練習する。
- 2) 教師は“Oh, it's snack time. But what should I have?” と生徒にたずねる。
- 3) たずねられた生徒は 絵をもとに“pudding.”などと答える。教師はその答をうけて、もう一度全文で言うように促す見本を示す。 “OK, pudding. Say, *You should have pudding.*”
- 4) 生徒は全文“You should have pudding.”それを繰り返す。
- 5) 生徒に食べ物の絵を配り、ペアやグループで上と同じ活動を行わせる。

例：

教師) Class, do you like pudding?

生徒) Yes.

教師) Do you like an apple pie?

生徒) Yes!!

教師) Oh, it's snack time. But what should I have?

生徒 A) Pudding.

教師) Thank you. I love it. Repeat after me. *You should have pudding.*

生徒全員) You should have pudding.

教師) Very good. A (生徒の名), what should I have for afternoon snack?

生徒 A) A banana crape!

教師) Oh, thanks. I love it, too. Repeat after me. *You should have a banana crape.*

生徒) You should have a banana crape.

教師) 皆さん、プリンは好きかな？

生徒) はい。

教師) アップルパイは好き？

生徒) はい！

教師) あ、おやつの時間だね。でも、何を食べたらいいだろう？

生徒) プリンがいいよ。

教師) ありがとう。大好物です。では繰り返して。あなたはプリンを食べるといいよ。

生徒) あなたはプリンを食べるといいよ。

教師) よくできました。Aさん、私はおやつに何を食べたらいいかな？

生徒 A) バナナクレープがいいよ！

教師) ありがとう。それも大好物。繰り返して。あなたはバナナクレープを食べるといいよ。

生徒) あなたはバナナクレープを食べるといいよ。

ペア活動の例：

生徒 A) It's snack time. What should I have?

生徒 B) You should have pudding.

生徒 A) Okay, I will. / That's a good idea.

生徒 A) もうおやつの時間だ。でも何を食べたらいいかなあ？

生徒 B) プリンを食べるといいよ。

生徒 A) いいね、そうするよ。